

事業コード	H17-建-新-4		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費		部局課室名	建設交通部 道路建設課
事業種別	一次改築(現道拡幅)		班 名	調整・企画班 (tel) 018-860-2483
路線名等	(主)大曲大森羽後線		担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	羽後町鶴ノ巣		担当者名	主幹(兼)班長 加賀屋 建一
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H22 (5年)		総事業費	6.6億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=1,620m、幅員(構成)W=6.0(11.0)m、(1.25-6.0-1.25-2.5)m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、大仙市を起点とし羽後町に至る幹線道路であり、県南部の地域間交流を支援する道路であるとともに、バス路線・通学路指定路線になっているなど、沿線集落を支える重要な道路となっている。しかし当該区間は、幅員狭小(W=5m)で歩道も無いため、歩行者の安全や大型車の通行に支障をきたしている。また雄物川と隣接している当地区は、豪雨時の水位上昇に伴いたびたび道路が冠水し通行止めになる等、地域住民の生活に多大な影響を与えている。</p> <p>このため、国土交通省が平成18年度から着手する雄物川の改修事業と一体となって防災性の確保を図るため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援) 車道幅員5.0m 6.0m 豪雨時の道路冠水被災の解消(防災・危機管理の充実)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		660,000	37,000	189,000	242,000	192,000
	経費内訳	工事費	461,400		128,800	148,800	183,800
		用補費	134,000		52,000	82,000	
		その他	64,600	37,000	8,200	11,200	8,200
	財源内訳	国庫補助	363,000	20,350	103,950	133,100	105,600
		県 債	280,000	15,000	80,000	103,000	82,000
その他							
	一般財源	17,000	1,650	5,050	5,900	4,400	
事業内容			詳細設計 用地測量	用地補償費 改良工	用地補償費 改良工	改良工 舗装工	
調査経緯	平成13年度 概略設計 平成14年度 予備設計						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画の雄勝地域計画で「地域の特色を活かした、交流と連携を基軸とした地域づくり」を支援する道路として位置づけている。						
関連プロジェクト等	国土交通省 雄物川河川改修事業(H18~H21)						
事業を取り巻く情勢の変化	1983年~2004年の間に8回冠水しており、平成16年も7月の台風により冠水している。						
事業効率把握の手法	指標名	路線改良率					
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	82%		データ等の出典	道路現況調査		
	達成値 b	78%					
達成率 b/a	95%		把握の時期	平成17年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	県南部の地域間交流を支える道路であり、バス路線・通学路指定路線にもなっているが、幅員狭小で歩道も無いため、大型車のすれ違いが困難であり、地域内の安全が確保されていない。 豪雨時に、雄物川の水位上昇に伴いたびたび道路が冠水し通行止めになる等、地域住民の生活に多大な影響を与えているため、早急な改良が必要である。	23 点
緊 急 性	国土交通省の雄物川河川改修事業が平成18年に着手することから、同時着工により一体的な整備が可能であり、地域の防災性を確保することができる。 平成16年にも台風の豪雨により道路が冠水しており、地域住民の安全確保が急がれている。	10 点
有 効 性	道路の防災対策・危機管理の充実 地域づくりの支援 車道5.0m 6.0m あきた21総合計画の雄勝地域計画で「交流と連携を基軸とした地域づくり」を支援する道路として位置づけている。	14 点
効 率 性	事業の費用便益比は1.71であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値6.9億円 ・総便益の現在価値11.9億円 河川改修事業との合併施行により、約320百万円のコスト縮減となっている。	27 点
熟 度	秋田県議会建設振興協力会から、鶴ノ巣地区の改良要望が出されている 羽後町明治地区振興協議会・鶴ノ巣部落から、現道拡幅と水害対策の要望が出されている。(用地の地元協力は惜しまない)	10 点
判 定	ランク ()	84 点
	判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
当該路線は、幅員狭小で歩道もないため大型車の通行などに支障を来していることに加え、豪雨時には、道路が冠水し通行止めになるなど、地域住民の生活に大きな影響を及ぼしている。このため、国土交通省が行う雄物川の改修事業と合併施行などにより、道路の拡幅を行うものであり、事業実施は適当と判断される。			

4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
当該路線は、幅員狭小で歩道もないことに加え、豪雨時にはたびたび冠水している。このため国土交通省が行う河川改修と一体となって整備(一部、兼用工作物)することで、道路拡幅と災害対策を同時に行うとともに、通常の事業による整備に比して費用の削減も図られるものであり、事業の実施は妥当なものと考え			

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
事業の実施は妥当である。			

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
--

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H17-建-新-4)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (羽後町鶴ノ巣)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	15	13	2次改築事業については該
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	13		
	・最小半径 < 100m	1箇所	10		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	14	10	2次改築は配点30点 2次改築は配点28点 2次改築は配点26点 2次改築は配点24点 2次改築は配点20点
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	13		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	12		
	・現道の事故率 50件	1件該当	10		
・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			30	23	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	
	・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路 特有の課題の有無	位置づけあり	5	0	
	老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不	位置づけなし	0		
計	あり	5	5		
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
県内90分交通体系、全国1日交通圏等	あり	7	7		
計	なし	0	15	14	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	20	20	
		1.0以上~1.5未満	15		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	10	7	
	1,000台/日以上~5,000台日/未満	7			
	1,000台/日未満	0			
計			30	27	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4	
		口頭要望あり	2		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3	
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	3	3		
計	なし	0	10	10	
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		